

&lt;Japan Buy-out Deal Conference in 長野&gt;

# 企業価値向上シンポジウム

## ～中堅・中小企業の経営革新、事業再編、事業承継における戦略的視点～

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。この度、長野にて、「企業価値向上シンポジウム」を開催することになりましたのでご案内させていただきます。企業競争力の強化のための戦略的視点が重要になってきている中で、長野県を含む北信越地区・広域関東圏の企業の経営者の皆様に有益な情報をお伝えできればと思います。

近年、M&A (mergers & acquisitions) に加え、バイアウトの手法が企業価値向上のための選択肢として認識されつつあります。この十数年の間に、北信越地区・広域関東圏においても、製造業（自動車部品、金型・精密、一般機械、電子部品、電気機器、繊維、食品、食品加工）、小売・卸売業（食品スーパー、アパレル、専門店、専門商社など）、サービス業（外食チェーン、教育サービス、医療・介護サービス、IT サービス、観光サービス）、運輸・物流、建設・不動産など多様な業種で事例が登場しました。具体的には、未上場オーナー企業の事業承継にバイアウト・ファンドが活用された事例、大企業の事業再編・子会社独立にバイアウトの手法が活用された事例、バイアウト・ファンドのネットワークを活用して海外事業を強化した事例、再生企業が外部からプロフェッショナル経営者を招聘して抜本的な経営改革を行った事例、などが出てきています。本シンポジウムでは、バイアウトの手法と事例を分かりやすく解説します。

経営改革を行いさらなる成長・発展を目指す企業の経営者、アジアを中心とする海外に拠点を有する企業の経営者、後継者問題を抱えるオーナー企業の経営者、業績低迷からの脱却を目指す企業の経営者、戦略的M&Aを検討している企業の経営者、次世代経営者の育成を目指す企業の経営者などにお薦めです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

### 開催要領

#### 【日時】

2015年11月19日（木）13:10～17:30（12:40 受付開始）

#### 【会場】

ホテルメルパルク長野（長野市鶴賀高畑 752-8）3階白鳳の間（JR 長野駅東口より徒歩 5分）

#### 【参加費】

1名 18,000円（税込）

#### 【参加対象】

- 未上場オーナー企業の経営者、上場企業（子会社を含む）の経営者（経営企画担当、財務担当、海外事業担当、社長室など）
- 地域金融機関（地方銀行、信用金庫など）、大手銀行、証券会社 ■弁護士、会計士、税理士などのプロフェッショナル

#### 【お申し込み方法】

申込書でのFAX送信かWebサイト上（<http://www.jbo-research.com/>）で申込書をダウンロードしメール添付で送信下さい。

### Lead sponsor



FRONTIER MANAGEMENT INC.  
フロンティア・マネジメント株式会社

### Co-sponsors

Advantage Partners

ANT CAPITAL  
PARTNERS

POLARIS

TMI ASSOCIATES

TMI 総合法律事務所



東京海上キャピタル株式会社

ANTELOPE  
CAREER CONSULTING

iΣ Capital  
アイ・シグマ・キャピタル株式会社

JPE  
Japan Private Equity Co., Ltd.

CLSA  
CAPITAL PARTNERS



フェニックス・キャピタル株式会社  
Phoenix Capital Co., Ltd.

INTEGRAL

TRY HARD INVESTMENTS  
BUILD THE FUTURE TOGETHER

K&C  
刈田・アンド・カンパニー  
Karita & Company, Inc.

主催：株式会社日本バイアウト研究所

協力：株式会社八十二銀行 株式会社中央経済社

URL: <http://www.jbo-research.com/>

【お問い合わせ先】 jbori@jbo-research.com（担当：杉浦）

# プログラム

受付開始 (12:40)

オープニング・スピーチ (13:10-13:15)

フロンティア・ターンアラウンド株式会社 代表取締役専務 西田明德氏

基調講演 (13:15-13:55)

テーマ: 地方経済にも企業統治革命が到来 ~触媒としてのバイアウト・ファンドとプロフェッショナル経営者の果たすべき役割~

講演者 フロンティア・マネジメント株式会社 代表取締役

フロンティア・ターンアラウンド株式会社 代表取締役社長 大西正一郎氏

<概要>

日本経済の大層を占める中堅・中小企業の多くは、地域経済に根差した経営を行っており、創業者の高齢化も進む中、地域雇用の維持などの観点からも、企業の永続的存続が重要なトピックとなっている。この解決の触媒としてバイアウト・ファンドの役割は確実に拡大してきている。バイアウト・ファンドの参画により、株主と業務執行者の企業統治の変革も求められることとなるが、本講演では、その変革を主導またはサポートする触媒としてのプロフェッショナル経営者に求められる要件について説明する。

マーケット・レビュー (13:55-14:30)

テーマ: バイアウトの手法と地方案件の動向 ~北信越・広域関東圏の中堅・中小企業の案件を中心として~

株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

<概要>

製造業(自動車部品、電子部品、金型・精密、プラスチック成形、プリント基板、電機機器、工具・産業機械、繊維、食品など)と小売・サービス業(外食チェーン、アパレルショップ、消費者向けサービスなど)を中心としたバイアウト案件の動向について解説する。特に、オーナー企業の事業承継や資本再構築を伴う案件、大企業の事業再編による子会社・事業部門の独立を伴う案件、中国や東南アジアを中心とする海外事業の強化が実施された案件、事業再生を遂行した案件について、具体的な事例を交えて説明する。

休憩 (14:30-14:40)

事例紹介①インタビュー・セッション (14:40-15:15)

テーマ: 山梨発・グローバル市場で戦う半導体製造装置メーカーの挑戦

~日立ハイテックグループから独立したファスフードテクノロジーの事例~

ファスフードテクノロジー株式会社 代表取締役社長 富士原秀人氏

株式会社アドバンテッジパートナーズ プリンシパル 印東徹氏

聞き手: 株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

<概要>

かつて世界をリードした日本の半導体業界は、シリコンサイクルによるボラティリティへの追従の難しさ、先端技術への継続的な投資の必要性などから、大手企業グループにおいても多数の事業が「選択と集中」の結果として再編・撤退を余儀なくされてきた。このような環境下、日立半導体事業の流れを組み、メモリ向けのダイボンダ装置の世界 No.1 シェアを有するファスフードテクノロジーは、バイアウト・ファンドの支援を得て「独立」という道を歩み始めている。本セッションでは、日本発の半導体製造装置メーカーが、大企業グループから独立してより強い企業となるために、経営陣とバイアウト・ファンドが行っている取り組みの一端をご紹介したい。

事例紹介②インタビュー・セッション (15:15-15:50)

テーマ: オーナー企業から役員全員参加型の経営への変革

~日本全国のお土産店を唯一カーバーするお土産物企画・製造・卸会社「藤二誠」の3年間の挑戦~

株式会社藤二誠 取締役副社長 長谷部康治氏

アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 代表取締役社長 飯沼良介氏

聞き手: アンテローブキャリアコンサルティング株式会社 代表取締役 小倉基弘氏

<概要>

甲府に本社を置く藤二誠は、オーナーのリーダーシップのもと成長を続け売上高 50 億円に届くところまで来ていた。一方、オーナーの年齢や次のステージへのステップアップが急務となっており、オーナーはバイアウト・ファンドとの資本提携を決意した。これまでオーナーの一存で経営を進めてきた会社は、資本提携後、予期せぬ「ファンド」という存在に不安を抱きつつ役員が自ら考えて経営を行っていく組織型経営へと舵をきり始めた。本セッションでは、現株主に「営業の末端の方まで PDCA が行き届いている」と感動されるまでに変革を遂げるに至った企業改革について、成功談と失敗談も含めてご紹介したい。

コーヒーブレイク (15:50-16:10)

パネルディスカッション (16:10-17:15)

テーマ: 中堅・中小企業の新ステージへの飛躍に向けて ~バイアウト・ファンドを活用した企業価値向上戦略~

ポラリス・キャピタル・グループ株式会社 パートナー 密田英夫氏

東京海上キャピタル株式会社 取締役社長 マネージング・パートナー 佐々木康二氏

アイ・シグマ・キャピタル株式会社 EVP (事業支援ファンド2号 副代表) 高木聡氏

司会者 フロンティア・ターンアラウンド株式会社 マネージング・ディレクター 古谷元氏

<概要>

中堅・中小企業では、後継者問題、経営人材不足、マーケティング・チャネルの拡大、グローバル化への対応、財務体質の強化などの経営課題を抱えているケースが多いが、M&A やバイアウトはこれらの課題を解決する有力な手段となる。本セッションでは、多様な業種の案件に関与しているプロフェッショナルに登壇頂いて、どのような経営課題を抱えている企業がバイアウトの対象になるのかについて紹介する。また、関東運輸(貨物自動車運送)、SFP ダイニング(外食チェーン)、三起商行(子供服の製造)、東日興産(建設機械・農業機械用部品の専門商社)、飯野製作所(自動車部品製造)など多彩な事例を取り上げながら、バイアウト・ファンドと企業との関わり合いのあり方などについての討論を行う。

クロージング・スピーチ (17:15-17:30)

テーマ: M&A・事業再編・事業承継と法的留意点 ~バイアウト・ファンドの活用も含めて~

TMI 総合法律事務所 弁護士 高原達広氏

TMI 総合法律事務所 弁護士 宮下央氏

\* 本プログラムの内容は予告なく変更される場合がありますので予めご了承願います。